

みしま

MISHIMA SHIGIKAI DAYORI



市議会だより



CONTENTS

令和5年度決算審査	2
9月定例会 議案審議の概要	6
市政に対する一般質問	8
先進地に学ぶ 視察報告	14
議会報告会のご案内	16

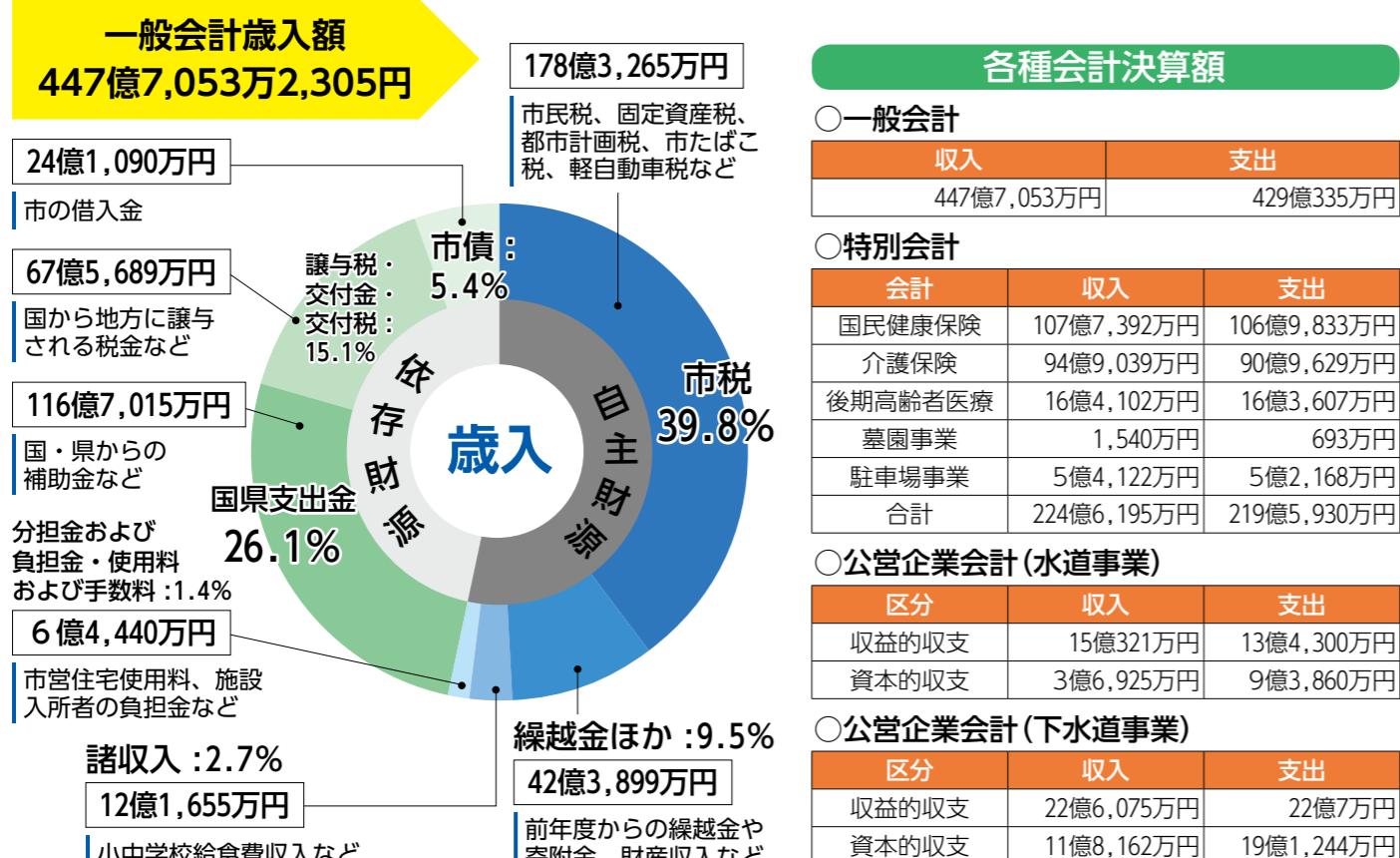
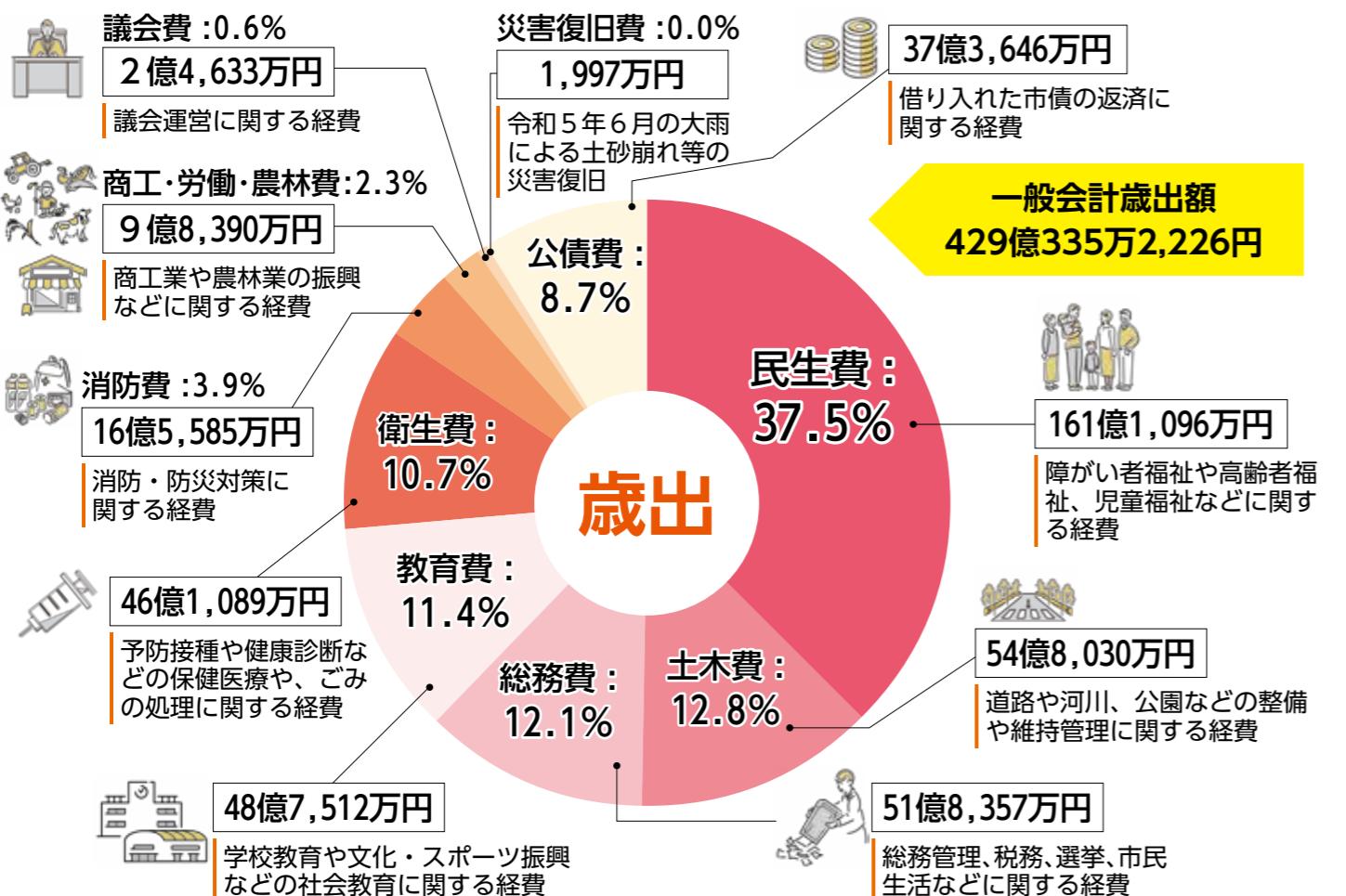
令和6年度 環境衛生週間ポスター・標語展
(ポスター中学生の部)

三島市議会議長賞

南中学校3年 吉岡 美玲さん

決算審査

9月定例会では、市長から提出された「令和5年度決算議案」の審査を行いました。



*金額については調整した万円単位で表記しています

※市ホームページおよび広報みしま 12月1日号にも詳細が掲載されますので、併せてご覧ください。

令和
5年度

令和6年度は議会としての監視機能を強化するため、試行として予算決算特別委員会を設置しました。9月5日に開催された予算決算特別委員会において、本会議から付託された決算内容について、総務、福祉教育、経済建設の各分科会に割り振り、それぞれ2日間質疑等を行いました。

9月27日に予算決算特別委員会が開会され、各分科会長からの質疑等の概要について報告を受けた後、採決し、全ての議案について認定または可決すべきものと決定しました。

9月定例会最終日、予算決算特別委員長が委員会での審査結果を報告し、賛成・反対の討論を行ったあと採決を行いました。その結果、賛成多数または全会一致で令和5年度の各会計決算を「認定」または議案を可決しました。

決算審査の流れ

市の会計について

市の会計は、お金の出し入れや事業の状況を分かりやすくするために、大きく一般会計、特別会計、公営企業会計の3つに分かれます。

一般会計

民生費、教育費、議会費など、市の基本的な事業の経費をまとめた市の中心的な会計

特別会計

国民健康保険、介護保険など、特定の収入を使い特定の事業を行ふ場合に経理を明確にするため、一般会計とは別につけられた会計

公営企業会計

水道事業、下水道事業のように事業を行うことで得られる収入（利用料金など）で経費をまかなく会計

経済建設分科会

9月9・10日

長伏公園再整備における施設の検討状況

Q 公園内施設整備事業における長伏公園の再整備について、遊具等の安全性は季節や天候に左右されると考える。イベント開催時も季節や天候により限定的な開催や中止となってしまう場合もあるが、そのような場合でも利用できる施設を検討したことあるか。

A 現時点では、そのような施設について、具体的な検討はしていないが、今回、長伏公園に設置予定の大型遊具に関するサウンディング調査で、事業者からの提案に、屋内の遊具施設など天候に左右されないものを設置してみてはどうかという意見もあったので、そういうものも視野に入れて、今後検討していくと考えている。



この写真はイメージです。

三島市議会から令和7年度予算編成に向けての要望を提出しました。

三島市議会では、令和6年度末に議選監査委員が廃止されることに伴い議会としての監視機能の強化の取組を検討しています。その一つとして、決算審査を踏まえて、議会として次年度予算編成に向けての意見・要望事項を伝えることとしました。

まず、各分科会から要望を1件ずつ提出し、その後予算決算特別委員会で決定しました。そして、9月定例会閉会後に議長から三島市長に提出しました。



詳細はこちらからご覧いただけます。

総務分科会

・伊豆ファン俱楽部推進事業について

福祉教育分科会

・不登校対策について

経済建設分科会

・長伏公園再整備事業について



総務分科会

9月13・17日

市役所の窓口業務におけるデジタル化の取り組み状況

Q スマート市役所推進事業について、市民課等の窓口業務におけるデジタル化により、住所異動手続きの待機時間の削減や、申請書などの記入負担の軽減などが見込まれるが、申請書等を書かない窓口業務についての令和5年度における取り組み状況はどうか。

A 住所異動等の手続きについて、令和4年12月から書かない窓口システムを導入し、令和5年度の利用状況は8,848件となっている。

平均的な待ち時間については、導入前の32分から、導入後は24分と削減された。新庁舎建設を控えていることもあり、今後は書かない窓口というだけではなく、行かない、待たない、各課を回らない窓口を目指していきたい。

伊豆ファン俱楽部推進事業のアプリ利用状況

Q 伊豆ファン俱楽部推進事業について、令和5年度末現在、伊豆ファン俱楽部のアプリ会員数は1,069人で、加盟しているのは100店舗とのことだが、アプリの利用状況はどうか。

A 令和6年2月に伊豆ファン俱楽部がスタートし、令和5年度のポイント付与数は223ポイント、令和6年8月末時点までの累計では668ポイントとなっている。これは、店舗にあるQRコードが668回読みとられたということになる。

一番利用されている店舗で31回で、半数以上が1、2回以下という状況である。今後はアプリ会員数や加盟店舗の拡大を図りながら、加盟店が期待するデータ分析結果の提供に応えていきたいと考えている。



福祉教育分科会

9月11・12日

不登校対策のスクールソーシャルワーカーの活動状況

Q 不登校対策事業について、スクールソーシャルワーカーの活動状況はどうなっているか。

A スクールソーシャルワーカーは7人いて、各中学校区単位で、その区域内の小学校も含め1人当たり平均して78回程度の訪問を実施し、学校と家庭とのつなぎ役等として活動している。県事業として派遣されているスクールカウンセラーとは勤務日が違うため同時に対応することはできないが、学校がハブとなり連携して児童生徒の支援に当たっている。また、関係者間の連携については、年1回開催している連絡協議会において情報共有を行っている。

母子保健事業の訪問型サポート事業における周知方法

Q 訪問型サポート事業の利用者が14人とのことだが、どのように周知しているのか。

A 母子手帳交付時の案内や8カ月アンケートにチラシを同封するほか、必要と思われる方へは個別に連絡することなどにより周知している。訪問型サポート事業は、1回当たり2時間までとなっているが、1人当たりの利用が平均16時間であり、繰り返し利用されている状況である。



9月定例会 議決結果

<全会一致となった議案>

議案番号	件名	結果
議第70号	令和6年度三島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第71号	令和6年度三島市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第72号	令和6年度三島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第74号	令和6年度三島市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議第75号	工事請負契約の締結について(三島市防災行政無線(同報系)デジタル化再整備工事)	可決
議第77号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(沼津市との事務委託)	可決
議第78号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(熱海市との事務委託)	可決
議第79号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(伊東市との事務委託)	可決
議第80号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(御殿場市との事務委託)	可決
議第81号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(裾野市との事務委託)	可決
議第82号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(伊豆市との事務委託)	可決
議第83号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(伊豆の国市との事務委託)	可決
議第84号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(函南町との事務委託)	可決
議第85号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(清水町との事務委託)	可決
議第86号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(長泉町との事務委託)	可決
議第87号	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について(小山町との事務委託)	可決
議第88号	草刈作業による車両の損傷事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定について	可決
議第89号	三島市空家等の適切な管理等に関する条例	可決
議第90号	三島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第91号	三島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議第92号	三島市教育委員会委員の任命について	同意
認第5号	令和5年度三島市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認第7号	令和5年度三島市水道事業会計決算認定について	認定
認第8号	令和5年度三島市下水道事業会計決算認定について	認定
議第67号	令和5年度三島市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第68号	令和5年度三島市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
請願第1号	小中学校給食費の無償化を求める請願	継続審査
発議第5号	地震財特法の延長に関する意見書	可決

<賛否が分かれた議案>

議案番号	件名	結果	改革みしま			緑水会			新未来21			公明			覚悟の会			日本共産党議員団		新風会				
			藤江康儀	土屋利絵	吉長谷稔	沈久美	秋山恭亮	佐野淳祥	野村諒子	甲斐幸博	高田康子	川原章寛	岡田美喜子	宮下知朗	村田耕一	鈴木文子	堀江和雄	弓場重明	石井真人	本間雄次郎	服部正平	河野月江	横山雅人	永田裕一
議第69号	令和6年度三島市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○	○
議第73号	令和6年度三島市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×	×	×	×	×	○
議第76号	建物及び土地の取得について(三島駅南口東街区再開発事業における立体駐車場用)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×	×	×	×	×	○
認第1号	令和5年度三島市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	退	○	×	×	欠	○
認第2号	令和5年度三島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	欠	○
認第3号	令和5年度三島市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	欠	○
認第4号	令和5年度三島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	欠	○
認第6号	令和5年度三島市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	×	欠	○

※ ○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席
※ 議長は表記に参加しないため、表記結果は斜線になっています。

Pick up 1
一般会計予算を増額補正

早目の予防に助成

Pick up 1

令和6年
9月定例会
9月5日～10月1日
会期:27日間

■今回の議案は…
市長提出議案 34件
議会提出議案 2件

この号では次の項目を
Pick up!

Pick up 2
条例の制定

空家等を適切に 管理

Pick up 3
(議第89号)
三島市空家等の適切な管理等に関する条例(全会一致)

Pick up 4
発議第5号

(発議第5号)
地震財特法の延長に関する意見書(全会一致)

Pick up 3
請願第1号

委員会に付託

すべての議案と結果などの詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。

三島市議会 検索

○ 感染症予防事業
1230万円
帯状疱疹の発症および重症化を予防するための予防接種について、当初の予想を上回る申請が見込まれることから、必要な経費を増額します。

主な質疑

質疑 三島市が帯状疱疹ワクチンを任意接種として助成を開始した
経緯は。

答弁 令和3年度と令和4年度の議会の一般質問において要望があつたことや、全国的にも同様の助成を実施する市町村が増えていっていることを実感している。国の予防接種ワクチン分科会の資料によると、医療経済的な観点という項目でワクチン接種者が非接種者に比べ費用対効果の点で優れていると記載されている。

議会での採決においても、全会一致により可決しました。9月定例会最終日に行なった本会議での採決においても、全会一致により可決しました。

Pick up 4
地震財特法の延長に関する意見書を可決し、国および関係機関へ提出しました。

「小中学校給食費の無償化を求める請願」が提出され、9月定例会最終日に福祉教育委員会に付託されました。閉会中に審査を行い、11月定例会で委員長が審査の結果を報告する予定です。

一般質問

ここが
聞きたい!



本間 雄次郎

(覚悟の会)



三島駅南口再開発事業の市営立体駐車場コスト

Q 新庁舎北田町案の立体駐車場は予想年間コストが164台で2,845万円、再開発は418台で2,500万円である。2,500万円で済むのか。

A 300台程度の立体駐車場で管理運営費が年間約1,800万円という事例を踏まえ、駐車台数に見合い支出が増加すると約2,500万円となる。稼働率等を厳しい条件で設定するなど、安全側に見る中で駐車場の収支予想を行っている。



新庁舎整備事業の地盤調査

Q 南二日町の位置条例可決後に地盤調査する予定とのことだが、市庁舎の所在地を決定した後に地盤不良が判明したらどうするのか。

A 建物構造の安全性の確保は杭基礎で対応可能と考えおり、概算事業費に見込んでいる。参考としている地盤調査結果は、基本設計の段階で建物の規模、構造に合わせて実施する地盤調査と比べて、若干の差異はあるかもしれないが大幅な違いはないと考える。

ベビーシッター利用助成等の子育て政策

他の質問事項

沈 久美
(改革みしま)



三島大祭りの昔と今とこれから

Q 運よく台風を免れた今年の三島大祭りについて、さまざまな客観的なデータや新たな取り組み状況などを踏まえた総括を伺う。

A 令和6年度の三島大祭りは台風等の影響があり例年より少なめの43万人の来場者であったが、延べ12,000人の市民や団体が参加した。また、新たに開催した大盆踊り大会では約2,500人の参加者があり、市民の祭りに対する喜びや情熱、郷土愛を強く感じることができた。

Q 異常酷暑対策として日程について検討は必要。三島暦師の館を有するまちとして、祭りの日程に旧暦の活用を提案するがいかがか。

A 三島大祭りは三島大社例大祭に合わせて実施している。古くは旧暦8月の二の酉の日に行われていたが明治4年に8月16日を例祭日と定めた経緯がある。日程を旧暦とすることは150年以上続く長い歴史、伝統を変えることとなり、市民にとっても難しいことと考へる。



永田 裕一

(新風会)



公共施設用地の借地解消

Q 公共用地の借地料は将来の歳出抑制の妨げになる。長伏公園再整備は借地解消の好機とも考えられるが、取り組みを伺う。

A 長伏公園の駐車場用地の約7割が3年契約の借地で、更新時には土地所有者に意向を伺い、合意の上で契約している。購入させて頂くこととなると、面積も大きく、多額の予算が必要となるため、土地の評価等を踏まえ、市の長期財政計画を考慮する中で検討していく。

大場地区土地利用事業

Q 三島市にとつて雇用の創出や税収増加が期待される本事業における、事業化推進パートナーから業務代行予定者への移行日途を伺う。

A 令和6年9月28日の土地区画整理準備組合総会にて、公共施設等の配置計画および事業費の概算フレーム等からなる基本計画案と、業務代行予定者の選任についての承認が得られたら、詳細な事業計画の調整・協議と法的な手続きを進めしていく体制が整うことになる。



高田 康子
(緑水会)



病児・病後児保育と少子化問題

Q 病児・病後児保育の申し込みを分かりやすくするとともに、当日対応も可能とすることができないか。

A 病児保育を実施する医療機関側に確認したところ、原則前日予約であるが、当日の連絡でも態勢がとれる場合には、受け入れが可能である。当日の申し込みについては医療機関のホームページ等で分かりやすく周知してもらえるよう、お願いしていく。



市民サービスの向上と職員の働き方改革

Q 市の職員の働き方は市民サービスの充実に大きく影響する。職員の業務のあり方や一人一人の仕事量は適正か。

A 行財政改革の推進による人員削減や、国・県からの事務の権限移譲等により業務量が増え、職員一人一人の負担は増える傾向にある。そのため、業務のDX化や職員の能力に応じた適材適所の人事配置、さらには、優秀な職員の採用等に努めている。

弓場 重明
(覚悟の会)



新庁舎整備地

Q 市庁舎は災害時における重要施設である。南二日町広場は地震災害時、軟弱地盤での液状化の可能性がある。なぜ事前に地盤調査をしないのか伺う。

A 南二日町広場は、既存の資料等から地盤の状況は確認しており、実質的な調査は、多くの公共工事と同様に、基本設計の段階で実施する予定である。地盤調査を建物の配置や規模、構造が定まっていない状況で実施した場合、設計段階で再調査が必要になると考える。



徘徊者・浮浪者・行旅人等の対応と対策

Q 行方不明者の中に、高齢者の徘徊事例が多く聞される。認知症等の進行による徘徊の増加が懸念されるが、その対策を伺う。

A 高齢者等見守りネットワーク協定事業所や関係機関と連携して緊急時に対応できる体制を整え、行方不明者が発生した場合の早期発見に努めている。また、事後対応として認知症高齢者等見守り登録事業など、適切なサービスを家族に提案している。



岡田 美喜子

(新未来21)



楽寿園が使われ活ける都市公園になるために

Q 園内は犬等のペット同伴の入園が禁止されているが、同伴入園を希望する声がある。ペットと入園できる方法を検討できないか。

A 楽寿園の入園については、緑の保全や来園者の安全確保など、施設の管理上、ルールを設けている。犬を介して媒介する病原菌や寄生虫は楽寿園の動物に致命的となる恐れがあることからペットの入りをお断りしているが、楽寿園運営委員会に諮りながら事例を調査研究する。

他の質問事項

弓場 重明
(覚悟の会)



中学校の技術科、家庭科の指導体制の充実

他の質問事項

市職員の人事

他の質問事項

7年間から4年間使用される中学生公民教科書

カーブミラーの設置状況確認作業

他の質問事項

7年間

他の質問事項

市職員の人事



鈴木 文子

(公明)



災害時等に命を守る取り組み

Q 救命時、女性等のプライバシー保護に加え、応急手当にも活用できる三角巾をAED本体と共にケースに配備すべきと考えるがどうか。

A 傷病者のプライバシー保護や止血・固定等にも使用できる有効な手段であると考えるために、コンビニなど24時間営業の店舗も含め実施の方向で検討し、AEDを持つ民間事業所への協力意向確認も行っていく。また、消防本部と連携して周知活動を行ってしていく。

実施していく。

加齢性難聴への取り組み

Q 認知症予防につながる加齢性難聴の早期発見に向け、ヒアリングフレイルチェックの実施と補聴器購入補助制度の導入を望むがどうか。

A 加齢性難聴の早期発見に関しては、聞こえの相談会などの新たな取り組みを始めており、普及啓発を行う中で受診勧奨の支援についても併せて検討していく。また、補聴器購入補助については、聞こえの改善などの効果を検証する試みについて調査研究していく。



甲斐 幸博
(緑水会)



ボランティア活動の支援

Q ボランティア活動のひとつである子どもたちの命を守るスクールガード活動に対し、感謝の気持ちを示し、補助を検討してはどうか。

A 子ども達の安全な登下校を見守ってくれるスクールガードの皆さまへの感謝の気持ちについては、子どもたちからの意見を取り入れながら、さまざまな方法で伝えている。今後の補助のあり方等については、ボランティアの皆さまのご意見を伺いながら調査研究を進めていく。

A 楽寿館や梅御殿、展示場は冷暖房設置や補修等を行い、夏場・冬場も活用を図る。イベントについて出店エリアの区分け、利用手続きのオンライン化、使用料納付のキャッシュレス化を検討する。また、動物のエサ代等を支援してもらう動物サポート制度を調査研究し、導入検討を進める。



ふるさと納税寄附金使途を公開してはどうか

ホームレス状態の方への支援

他の質問事項

ふるさと納税寄附金使途を公開してはどうか

石井 真人
(覚悟の会)



新庁舎を南一曰町広場に整備する際の課題

Q 国道1号から南一曰町広場整備地への侵入は、右折を考えず左折のみになるのか。信号機設置も含め、市の考えを問う。

楽しい園をさらに楽しい園にするために

Q 三島市の憩いの場所である樂寿園をさらに楽しむ園として、多くの方が訪れる場所にするための新しい取り組みについて伺う。

A 楽寿館や梅御殿、展示場は冷暖房設置や補修等を行い、夏場・冬場も活用を図る。イベントについて出店エリアの区分け、利用手続きのオンライン化、使用料納付のキャッシュレス化を検討する。また、動物のエサ代等を支援してもらう動物サポート制度を調査研究し、導入検討を進める。



ワーケーション+リノベーション空き家

困窮世帯の子どもの習い事補助

他の質問事項

ふるさと納税寄附金使途を公開してはどうか

秋山 恭亮
(改革みしま)



三島市・沼津市主催の合同同移住バッスター

Q 過去3回の実施で計23組42人が参加、好評であり移住の検討を進めている人が多かつたと伺っている。今後の実施予定を伺う。

A 移住された方との交流会を中心に行なっており、参加者が実際に移住につながった実績も出ている。令和6年度も10月に2回目を予定しており、これまでの検証を踏まえ令和7年度も継続を検討している。



Q 三島市はワーケーションの受け入れに注力している。宿泊場所として利活用できるリノベーション空き家を増やす補助金拡充の見解は。

A 令和6年度から、空き家を地域コミュニティの維持・再生の拠点として改修する場合に最大で100万円を補助する制度を開始した。ワーケーション宿泊施設も交付対象としており、コミュニティ拠点が増えるよう民間事業者等と連携し、取り組みを進めていく。



河野 月江

(日本共産党議員団)



限りある財源を有效地に活用していくために

Q より高い成果を創出できるよう、成果運動型民間委託契約方式を導入してはどうか。

A 対象の事業が限られるため制度への理解が進んでいないなどの課題もあるが、固定資産税の課税対象の事業用資産の申告を促す業務委託では、成果運動により大きな成果が得られており、今後も官民連携を進めながらさらに積極的な活用の検討を図っていく。

放課後児童クラブの預かりサービス拡充

Q 入学式や卒業式が行われる午前中の預かりサービスを希望する声がある。より子育てしやすいまちとするため、応えることができないか。

A 支援員の勤務時間の変更や増員が必要となるほか、式典の会場となる体育館内や、その至近に放課後児童クラブが設置されている場合における式典への影響も懸念されるところ、対応は難しいのが現状であるが、指定管理者や学校と可能性を協議していく。



パブリック・コメント制度の充実を

他の質問事項

障がい者等への日常生活用具給付の改善を

他の質問事項

他の質問事項

Q 決算総額の約1%程度である保護者負担分について、全国では徴収を止め無償とする流れが大きく進んでいるが、市の認識を伺う。

A 全国では国の物価高騰対策の交付金を給食費の無償化に充てたり、独自に無償化助成を行ったりする自治体が増加していることは認識している。現在、県内では1市2町が小中学校とともに無償化を実施しているが、今後も国および県の動向を注視していく。

学校給食の無償化を国での制度化待ちとせず、市として実施に踏み切りながら国・県に制度化を迫っていく必要があるのでないか。

A 学校給食費の保護者負担軽減を図るため、令和6年度については市が給食費の7%を助成している。無償化については国の責任と財源による制度創設を全国市長会、東海市長会を通じて国に要望している。引き続き、国や県の動向を注視していく。



Q 決算総額の約1%程度である保護者負担分について、全国では徴収を止め無償とする流れが大きく進んでいるが、市の認識を伺う。

A 全国では国の物価高騰対策の交付金を給食費の無償化に充てたり、独自に無償化助成を行ったりする自治体が増加していることは認識している。現在、県内では1市2町が小中学校とともに無償化を実施しているが、今後も国および県の動向を注視していく。

いまと三島市も小中学校給食費の無償化を

Q 決算総額の約1%程度である保護者負担分について、全国では徴収を止め無償とする流れが大きく進んでいるが、市の認識を伺う。

A 全国では国の物価高騰対策の交付金を給食費の無償化に充てたり、独自に無償化助成を行ったりする自治体が増加していることは認識している。現在、県内では1市2町が小中学校とともに無償化を実施しているが、今後も国および県の動向を注視していく。



河野 月江

(日本共産党議員団)



Q 救命時、女性等のプライバシー保護に加え、応急手当にも活用できる三角巾をAED本体と共にケースに配備すべきと考えるがどうか。

A 傷病者のプライバシー保護や止血・固定等にも使用できる有効な手段であると考えるために、コンビニなど24時間営業の店舗も含め実施の方向で検討し、AEDを持つ民間事業所への協力意向確認も行っていく。また、消防本部と連携して周知活動を行っていく。

実施していく。

加齢性難聴への取り組み

Q 認知症予防につながる加齢性難聴の早期発見に向け、ヒアリングフレイルチェックの実施と補聴器購入補助制度の導入を望むがどうか。

A 加齢性難聴の早期発見に関しては、聞こえの相談会などの新たな取り組みを始めており、普及啓発を行う中で受診勧奨の支援についても併せて検討していく。また、補聴器購入補助については、聞こえの改善などの効果を検証する試みについて調査研究していく。



甲斐 幸博
(緑水会)



ボランティア活動の支援

Q ボランティア活動のひとつである子どもたちの命を守るスクールガード活動に対し、感謝の気持ちを示し、補助を検討してはどうか。

A 子ども達の安全な登下校を見守ってくれるスクールガードの皆さまへの感謝の気持ちについては、子どもたちからの意見を取り入れながら、さまざまな方法で伝えている。今後の補助のあり方等については、ボランティアの皆さまのご意見を伺いながら調査研究を進めていく。

A 楽寿館や梅御殿、展示場は冷暖房設置や補修等を行い、夏場・冬場も活用を図る。イベントについて出店エリアの区分け、利用手続きのオンライン化、使用料納付のキャッシュレス化を検討する。また、動物のエサ代等を支援してもらう動物サポート制度を調査研究し、導入検討を進める。



ふるさと納税寄附金使途を公開してはどうか

ホームレス状態の方への支援

他の質問事項

ふるさと納税寄附金使途を公開してはどうか

石井 真人
(覚悟の会)



新庁舎を南一曰町広場に整備する際の課題

Q 国道1号から南一曰町広場整備地への侵入は、右折を考えず左折のみになるのか。信号機設置も含め、市の考えを問う。

楽しい園をさらに楽しい園にするために

Q 三島市の憩いの場所である樂寿園をさらに楽しむ園として、多くの方が訪れる場所にするための新しい取り組みについて伺う。

A 楽寿館や梅御殿、展示場は冷暖房設置や補修等を行い、夏場・冬場も活用を図る。イベントについて出店エリアの区分け、利用手続きのオンライン化、使用料納付のキャッシュレス化を検討する。また、動物のエサ代等を支援してもらう動物サポート制度を調査研究し、導入検討を進める。



ワーケーション+リノベーション空き家

困窮世帯の子どもの習い事補助

他の質問事項

ふるさと納税寄附金使途を公開してはどうか

秋山 恭亮
(改革みしま)



三島市・沼津市主催の合同同移住バッスター

Q 過去3回の実施で計23組42人が参加、好評であり移住の検討を進めている人が多かつたと伺っている。今後の実施予定を伺う。

A 移住された方との交流会を中心に行なっており、参加者が実際に移住につながった実績も出ている。令和6年度も10月に2回目を予定しており、これまでの検証を踏まえ令和7年度も継続を検討している。



Q 三島市はワーケーションの受け入れに注力している。宿泊場所として利活用できるリノベーション空き家を増やす補助金拡充の見解は。

A 令和6年度から、空き家を地域コミュニティの維持・再生の拠点として改修する場合に最大で100万円を補助する制度を開始した。ワーケーション宿泊施設も交付対象としており、コミュニティ拠点が増えるよう民間事業者等と連携し、取り組みを進めていく。



Q 決算総額の約1%程度である保護者負担分について、全国では徴収を止め無償とする流れが大きく進んでいるが、市の認識を伺う。

A 全国では国の物価高騰対策の交付金を給食費の無償化に充てたり、独自に無償化助成を行ったりする自治体が増加していることは認識している。現在、県内では1市2町が小中学校とともに無償化を実施しているが、今後も国および県の動向を注視していく。

学校給食の無償化を国での制度化待ちとせず、市として実施に踏み切りながら国・県に制度化を迫っていく必要があるのでないか。

A 学校給食費の保護者負担軽減を図るため、令和6年度については市が給食費の7%を助成している。無償化については国の責任と財源による制度創設を全国市長会、東海市長会を通じて国に要望している。引き続き、国や県の動向を注視していく。



Q 決算総額の約1%程度である保護者負担分について、全国では徴収を止め無償とする流れが大きく進んでいるが、市の認識を伺う。

A 全国では国の物価高騰対策の交付金を給食費の無償化に充てたり、独自に無償化助成を行ったりする自治体が増



古長谷 稔
(改革みしま)



災害救助法適用など、昨今の災害対応

Q 災害発生の恐れがある段階での災害救助法適用について、基準や手続き、早期適用の重要性を踏まえ、どう考えるか見解を伺う。

A 大規模地震の切迫性が叫ばれる中、風水害も頻発化・激甚化しており、今後も災害救助法の適用があり得るものと想定し、災害救助法の適用要件や支援内容、適用された場合の事務処理等に関し、関係課で事前把握に努め、公助の強化につなげたいと考えている。

Q 一人一台タブレットを貸与するGIGAスクール構想が6年目を迎える。今後の導入計画や機種選定およびLTE機能の導入効果を伺う。

A 次期一人一台端末は、現在使用しているLTE通信モデルのiPadの最新機種を、令和8年4月から5年間導入する予定である。Wi-Fi環境を気にせず屋外でも児童生徒の主体的な活動が実現可能になったことはLTE通信の良さと考えている。



Q 加齢性難聴による認知症は補聴器装用により低減できるが、補聴器は高額である。購入費の補助を検討すべきと考えるがどうか。

A 高齢者の補聴器の使用を促進する必要性は感じているが、その効果検証や年齢要件、所得制限などの基準設定等さまざまな課題があることから、これらの課題を踏まえ、効果を検証するような試みについて調査研究するとともに、引き続き他の研究機関の事例収集に努める。

Q 加齢性難聴による認知症は補聴器装用により低減できるが、補聴器は高額である。購入費の補助を検討すべきと考えるがどうか。



服部 正平
(日本共産党議員団)



加齢性難聴者への補聴器購入費補助の創設を

Q 遺伝研坂下交差点は歩道も車道も狭い。多くの子どもが登下校することから、今以上の安全対策が必要と考えるがどうか。

A 遺伝研坂下の交差点については、三島警察署および道路管理者と現場確認などを実施し、交差点内の安全を確保できるよう検討していく。また、運転者のマナー向上も重要なことから、引き続き、関係団体の協力をいただき、交通安全意識の高揚に努めていく。



Q 現代農業の課題に対する国の方針が示されたことから、今後の国の施策や動向を注視しつつ、三島市の課題解決を図る。三島の農畜産物や料理等のファンの増加に向け、市民、農業・観光・商工関係者と連携して取り組み、三島市の農業の更なる発展を図る。

A 通学路の安全確保を図るために、冬場に曇らなりにくい強化ガラス製などのカーブミラーを設置する際には、通学路等安全対策会議で検討した危険箇所への設置を考えていく。



横山 雅人
(新風会)



三島市の農業施策

Q 食料・農業・農村基本法の改正法が令和6年5月29日に成立したが、今後の三島市の農業の位置付けについて伺う。



佐野 淳祥
(緑水会)



市営中央駐車場の今後

Q 市営中央駐車場は民間売却の方針としているが、公用車約40台の定期収入がなくなり赤字化が心配されるが、今後どうするのか。

A 市営中央駐車場は新庁舎が整備されるまでの間は、駐車場機能の維持を条件に売却の方針としているが、新庁舎整備に伴うまちなかの賑わい創出の観点から方針の見直しを検討する。今後、跡地等の基本構想の策定に合わせて市場性の把握や、関係団体等からの意見などを伺っていく。



野村 諒子
(緑水会)



不動産の相続登記義務化に対応する相談窓口

Q 法改正により不動産を相続した場合の不動産登記が義務化されたが、市の専門家による相談対応の現状はどうか。

A 毎月2回、第1・第3水曜日に静岡県司法書士会三島地区の司法書士に依頼し、相続・登記相談を実施している。また、不動産相続に関する相談として、弁護士による法律相談を月4回、静岡県宅地建物取引業協会東部支部による不動産相談を毎月1回行っている。



村田 耕一
(公明)



障がい者の日常生活用具給付事業一部所得制限撤廃

Q 国は令和6年度から障がい者の補装具費支給制度で18歳未満の所得制限を撤廃しているが、日常生活用具給付事業にも適用できいか。

A 今回国が補装具の所得額の上限撤廃に至った背景や、平成18年に県が発出した技術的助言の趣旨を踏まえつつ、日常生活用具給付事業の上限撤廃についても、県内他市町の状況なども複合的に精査しながらその必要性を考えていいく。



村田 耕一
(公明)



生活保護世帯から大学進学に給付型奨学生金を

Q 生活保護世帯から世帯分離し、大学等進学する子どもについて、既存奨学生では到底足りない。当市独自の給付型奨学生金の創設ができるか。

A 進学希望の場合は、厚生労働省発行の進路支援冊子で大学等の授業料免除などの制度を紹介すると共に、生活保護法により支給する最大30万円の進学・就職準備給付金により、新生活を支援している。国のがん治療支援制度が拡充したことから、奨学生金の創設は見送り、調査・研究していく。

A 千貫樋は、三島市歴史的風致維持向上計画において、歴史的風致形成建造物の指定候補として位置付けており、今後、所有者や施設の範囲が特定されれば、指定に向けた具体的な手続きの検討に入ることができるものと考えている。



千貫樋の保全

Q 北条氏・今川氏・武田氏の三国同盟50年の生き証人である千貫樋は三島の宝であるが、当局の認識と取り組みを伺う。



佐野 淳祥
(緑水会)



市営中央駐車場の今後

Q 市営中央駐車場は民間売却の方針としているが、公用車約40台の定期収入がなくなり赤字化が心配されるが、今後どうするのか。



野村 諒子
(緑水会)



市営中央駐車場の今後

A 市営中央駐車場は新庁舎が整備されるまでの間は、駐車場機能の維持を条件に売却の方針としているが、新庁舎整備に伴うまちなかの賑わい創出の観点から方針の見直しを検討する。今後、跡地等の基本構想の策定に合わせて市場性の把握や、関係団体等からの意見などを伺っていく。



村田 耕一
(公明)



障がい者の日常生活用具給付事業一部所得制限撤廃

Q 国は令和6年度から障がい者の補装具費支給制度で18歳未満の所得制限を撤廃しているが、日常生活用具給付事業にも適用できいか。

A 今回国が補装具の所得額の上限撤廃に至った背景や、平成18年に県が発出した技術的助言の趣旨を踏まえつつ、日常生活用具給付事業の上限撤廃についても、県内他市町の状況なども複合的に精査しながらその必要性を考えていいく。



村田 耕一
(公明)



生活保護世帯から大学進学に給付型奨学生金を

Q 生活保護世帯から世帯分離し、大学等進学する子どもについて、既存奨学生では到底足りない。当市独自の給付型奨学生金の創設ができるか。

A 進学希望の場合は、厚生労働省発行の進路支援冊子で大学等の授業料免除などの制度を紹介すると共に、生活保護法により支給する最大30万円の進学・就職準備給付金により、新生活を支援している。国のがん治療支援制度が拡充したことから、奨学生金の創設は見送り、調査・研究していく。

A 千貫樋は、三島市歴史的風致維持向上計画において、歴史的風致形成建造物の指定期間が特定されれば、指定に向けた具体的な手続きの検討に入ることができるものと考えている。



佐野 淳祥
(緑水会)



千貫樋の保全

Q 北条氏・今川氏・武田氏の三国同盟50年の生き証人である千貫樋は三島の宝であるが、当局の認識と取り組みを伺う。



野村 諒子
(緑水会)



市営中央駐車場の今後

A 市営中央駐車場は新庁舎が整備されるまでの間は、駐車場機能の維持を条件に売却の方針としているが、新庁舎整備に伴うまちなかの賑わい創出の観点から方針の見直しを検討する。今後、跡地等の基本構想の策定に合わせて市場性の把握や、関係団体等からの意見などを伺っていく。



村田 耕一
(公明)



障がい者の日常生活用具給付事業一部所得制限撤廃

Q 国は令和6年度から障がい者の補装具費支給制度で18歳未満の所得制限を撤廃しているが、日常生活用具給付事業にも適用できいか。

A 今回国が補装具の所得額の上限撤廃に至った背景や、平成18年に県が発出した技術的助言の趣旨を踏まえつつ、日常生活用具給付事業の上限撤廃についても、県内他市町の状況なども複合的に精査しながらその必要性を考えていいく。



村田 耕一
(公明)



生活保護世帯から大学進学に給付型奨学生金を

Q 生活保護世帯から世帯分離し、大学等進学する子どもについて、既存奨学生では到底足りない。当市独自の給付型奨学生金の創設ができるか。

A 進学希望の場合は、厚生労働省発行の進路支援冊子で大学等の授業料免除などの制度を紹介すると共に、生活保護法により支給する最大30万円の進学・就職準備給付金により、新生活を支援している。国のがん治療支援制度が拡充したことから、奨学生金の創設は見送り、調査・研究していく。



村田 耕一
(公明)



千貫樋の保全

Q 生活保護世帯から世帯分離し、大学等進学する子どもについて、既存奨学生では到底足りない。当市独自の給付型奨学生金の創設ができるか。

A 進学希望の場合は、厚生労働省発行の進路支援冊子で大学等の授業料免除などの制度を紹介すると共に、生活保護法により支給する最大30万円の進学・就職準備給付金により、新生活を支援している。国のがん治療支援制度が拡充したことから、奨学生金の創設は見送り、調査・研究していく。



村田 耕一
(公明)



市営中央駐車場の今後

A 市営中央駐車場は新庁舎が整備されるまでの間は、駐車場機能の維持を条件に売却の方針としているが、新庁舎整備に伴うまちなかの賑わい創出の観点から方針の見直しを検討する。今後、跡地等の基本構想の策定に合わせて市場性の把握や、関係団体等からの意見などを伺っていく。



村田 耕一
(公明)



障がい者の日常生活用具給付事業一部所得制限撤廃

Q 国は令和6年度から障がい者の補装具費支給制度で18歳未満の所得制限を撤廃しているが、日常生活用具給付事業にも適用できいか。

A 今回国が補装具の所得額の上限撤廃に至った背景や、平成18年に県が発出した技術的助言の趣旨を踏まえつつ、日常生活用具給付事業の上限撤廃についても、県内他市町の状況なども複合的に精査しながらその必要性を考えていいく。



村田 耕一
(公明)



生活保護世帯から大学進学に給付型奨学生金を

議会の活動

- 7月**
- 1日 各派代表者会議
 - 4・5日 総務委員会行政視察
 - 16日 議員意見交換会
各派代表者会議
 - 18日 静岡県市議会議員研修会
 - 29~31日 福祉教育委員会行政視察
 - 30日 東部地区6市4町議会議長連絡会
- 8月**
- 2日 議会報告会運営会議
議員研修会
各派代表者会議
 - 7~9日 経済建設委員会行政視察
 - 13日 議会運営委員会
 - 15日 平和都市推進事業街頭啓発事業
 - 21日 議会運営委員会
 - 22日 議員説明会
 - 28日 議会報告会運営会議
 - 29日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 9月**
- 5日~10月1日 9月定例会
 - 5日 各派代表者会議
議会運営委員会
本会議（議案審議）
予算決算特別委員会
議会だより編集委員会
 - 9・10日 経済建設分科会（決算審査）
 - 11・12日 福祉教育分科会（決算審査）
 - 13・17日 総務分科会（決算審査）
 - 20・24・25・26・27日 本会議（一般質問）
 - 24日 各派代表者会議
議会運営委員会
 - 27日 予算決算特別委員会
 - 30日 議会だより編集委員会
- 10月**
- 1日 各派代表者会議
本会議（議案審議）

11月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	29	30
		本会議（議案審議）				
12/1	2	3	4	5	6	7
			本会議（一般質問）			
8	9	10	11	12	13	14
本会議（一般質問）	本会議（一般質問）		本会議（議案審議）			

本会議は午後1時開会する予定です。
日程は変更になる場合があります。

委員長：河野 月江
副委員長：村田 耕一
委員：沈 久美、高田 康子、宮下 知朗、
本間 雄次郎、永田 裕二
議会だより
編集委員会

視察報告



三島市が抱えるさまざまな課題を調査するため、委員会で先進地を訪問し、視察研修を行いました。

経済建設委員会 8/7~9

金沢市中心街地都市機能向上計画に基づいた街づくりについて

－石川県金沢市－

中心市街地をエリア分けし、エリアごとに歩行空間である「にぎわいコアストリート」と、そこを繋ぐ「にぎわいアクセスロード」を位置づける独自の手法が効果的である。通りごとに役割を明確化したことにより、土地利用にメリハリがあり、駐車場の移転再配置などに繋がり、結果的にあらゆる世代の歩行者が安心して歩ける街なみが生まれている。また、計画の実現に向け、住民との話し合いや合意形成を大切にしながら、丁寧に進めてきた歴史が伺える。

学びの森官民連携型賑わい創出事業について

－岐阜県各務原市－

学びの森は大正時代に開設された岐阜高等農林学校から承継されてきた樹木や地形を生かした、広大な公園である。学校や鉄道駅などがある周辺エリアと一体的に都市基盤整備が進められた結果、通学や憩いの風景などの賑わいが生まれることとなり、公園を「緑の中の賑わいのある新しいまちの顔」とするべく、Park-PFI制度を活用した賑わい創出事業に取り組むこととなった。

コンセプトである「常設のマーケット日和」を実現し、新たな賑わい拠点とするため、全天候型屋内遊戯施設や飲食店、特定公園施設としてトイレや木もれ日デッキなどの整備を提案した各務原学びの森コンソーシアムの「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」が選定された。



地域再生計画作成による総理大臣認定と財政支援について

－岐阜県郡上市－

郡上市では、滞在型観光の充実、合理的な農業生産体制の確立による農業所得向上、林業の進行と木材地域再生の3つを目標とし、みんなでつくるまちづくり計画を行っている。地域再生のために行う事業として、道路網ネットワーク整備に力を入れており、観光施設に繋がる市道の新設や路線改良、主要幹線を結ぶ広域農道の開設、森林資源活用のための林道開設などを行っている。自然の地形を生かした城下町や、湧水を使った水利施設が一体となり、素晴らしい城下町となっている。

先進地に学ぶ

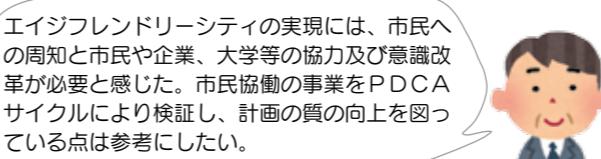
福祉教育委員会 7/29~31

エイジフレンドリーシティの取組について

－秋田県秋田市－

平成21年から事業に取り組み、5年毎に行動計画を見直す中、現在は第3次行動計画が実行されている。

有識者等による行動計画推進委員会や市内推進会議などの推進体制を構築し、「高齢者コインバス事業」による高齢者の外出支援や、様々なイベント等を開催する「エイジフレンドリーシティの日」の設定、民間事業者が提案した「エイジフレンドリーパートナーズづくり推進事業」など、数多くの事業を実施している。



ヤングケアラーピアサポート事業について

－宮城県仙台市－

ヤングケアラーの早期発見・支援につなげるため、相談窓口の設置や、当事者の支援にあたるピアサポート体制の構築、当事者同士が悩みや情報を共有できるオンラインサロンを実施している。

小・中・高校に対しモデル的な学校内サロンの働きかけも行っており、高校ではヤングケアラー診断サイトを作成するなど、効果的な取り組みに繋がっている。



SDGs 推進全世代健康都市圏事業について

－福島県郡山市－

福島県立医科大学との共同研究により、全世代の健康情報等のデータを分析し、効率的な保健事業を実施に向けた健康ポータルサイト「ココカラこおりやま」を開設するなど、健康格差の縮小や健康寿命の延伸を目指している。

総務委員会 7/4・5

新庁舎の整備について

－埼玉県八潮市－

市民の安全・安心を最優先に確保するため、公共施設マネジメントアクションプランを策定し、新庁舎と、庁舎別館、庁舎東側棟、保健センターを集約することとなつた。また、市民文化会館・勤労福祉センターを集約した八潮メセナ、中央公園および新庁舎をサークル上に園路で繋ぎ、市民の活動スペースとして憩いの場の形成を図っている。台風等の浸水被害に備えるため、新庁舎の1階は水害への対応を考慮した構造とし、非常用発電機や免震装置の設置、ZEB Readyに対応した自然エネルギーの活用などを行なっている。

子ども関係の部署、保健センター、自立支援を行う福祉部署とハローワークとの併設などの複合施設を集約することによる市民の利便性向上を図っている。また、市民が集うサークル広場、栄養指導室、キッズスペース、多目的広場など、市の職員だけでなく市民も利用できる市役所など、随所に工夫が施されており参考になった。



新庁舎の整備について

－千葉県袖ヶ浦市－

令和4年に北庁舎・整備等の建設工事、令和5年に中庁舎の耐震補強及び大規模改修工事、令和6年2月から最終段階となる南庁舎の建設工事を行っている。新築部分と耐震補強をして使用する部分があり、同一敷地内の既存施設等を継続的に利用しながら庁舎を整備し、建設後は一体的に利用することとした。工事については効率的かつ安定的に業務を遂行する業者を選定するため、設計・施工一括発注（デザインビルド）方式とした。



議会報告会2024

あなたの声が聞きたい

テーマ

市議会議員は何人必要? ～議員定数について～

減らす?
or
増やす?
or
現状のまま?

三島市議会の議員定数については、条例で22人と定められており、議員は4年に一度行われる選挙によって選ばれます。

三島市政という最も身近で生活に直結するさまざまな決め事を、市民のみなさんに代わって決定しているのが市議会です。市議会議員の定数は住民の意見をしっかりくみ取れるようにするのが前提ですが、時代の流れや人口の変動を反映していく必要があるという考え方もあります。

そこで、今年の議会報告会は、議員定数について、会場での意見交換会と、ホームページでの意見募集の2つの方法で開催します。お好きな方法でご意見・ご感想をお聞かせください!!



会場で

次の日程で開催しますので、お気軽にご参加ください。会場準備の都合上、参加される方はあらかじめ下記の2次元コードからご登録いただくか、**議会事務局(055-983-2600)**までご連絡ください。当日飛び入り参加も可能です。

日付	時間	場所
11月8日(金)	19時～20時30分	三島市役所本館 3階 第一会議室
11月9日(土)	10時～11時30分	錦田公民館 (三島市谷田(並木973-1))
11月10日(日)	14時～15時30分	北上公民館 (三島市萩312)
11月12日(火)	19時～20時30分	中郷公民館 (三島市梅名353-1)

参加申込は
こちらから!



ホームページで

ホームページ上での意見募集を行います。
説明動画（10月18日～11月11日に配信）をご覧の上、
ご意見をお寄せください。

詳細は三島市議会
ホームページで!
議会報告会に関する情報を
随時更新していきます。

